



病院案内

National Hospital Organization
Yokohama Medical Center

Hospital Guide



横浜市南西部地域中核病院
独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センター

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センターの理念

最適な医療を提供し、地域に信頼され共に発展する基幹病院として社会に貢献します。

基本方針

1. 患者さんの人権を尊重し、信頼関係に基づいた、安全で良質な医療を提供します。
2. 地域の医療機関と密接に連携し、地域完結型医療の中心的役割を担います。
3. 職員の教育研修の充実を図り、能力向上と人材育成に努めます。
4. 臨床研究に積極的に取り組み、医療水準の向上に貢献します。
5. 職員が自らの成長を実感できる、働きがいのある病院をつくります。
6. 健全な病院経営に務め、安定して持続可能な運営を目指します。

ごあいさつ



国立病院機構横浜医療センター
院長 宇治原 誠

当院は2004年の独立行政法人化に伴い、横浜市南西部中核病院となり、その後日本医療機能評価機構の認定病院、DPC病院、さらに地域医療支援病院と認定され、高度急性期病院として地域医療に貢献すべく日々努力しております。また2010年に全面的に建て替えを行った免震構造の新棟は、東日本大震災においても被害を最小限にとどめ、2020年以降のコロナ禍では、横浜市や神奈川県のコロナ対応中核・拠点病院として責務を果たし、現在も対応を続けております。2023年度には乳腺診療を増強し、6月には新たに血液浄化センターを開設しました。

当院は、専門医療、救急医療を提供しつつ、地域の医療機関、行政機関と協同して、地域の皆様の健康増進に貢献してまいります。ご支援をよろしくお願いたします。

沿革

1943年 6月	「戸塚海軍病院」として創設
1945年 12月	「国立戸塚病院」として発足 (厚生省へ移管)
1949年 1月	「国立横浜病院」と名称変更
1982年 8月	救命救急センター運営開始
1997年 1月	エイズ治療拠点病院の指定
2003年 3月	国立横浜東病院と統合し 「国立病院横浜医療センター」として発足
2004年 4月	独立行政法人化に伴い「独立行政法人 国立病院機構横浜医療センター」に 名称変更
2006年 4月	日本医療機能評価機構認定
2007年 9月	地域医療支援病院の指定
2010年 4月	新病院開院 横浜市南西部地域中核病院の指定 地域周産期母子医療センターの指定
2013年 2月	神奈川IDMA T指定病院の指定
2013年 4月	神奈川県がん診療連携指定病院の指定
2017年 3月	神奈川IDMAT-L指定病院の指定
2022年 2月	日本医療機能評価機構 高度・専門機能 (救急医療・災害時の医療)認定
2024年 4月	地域がん診療連携拠点病院の指定

病院概要

病床規模 病床数 490床 (一般470床、精神20床)

診療部門 内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、心療内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、緩和ケア内科、アレルギー科、リウマチ科 (膠原病・リウマチ内科)、感染症内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

政策的医療等の実施に関する指定等

横浜市南西部地域中核病院、地域医療支援病院、救急救命センター、二次救急拠点病院A、小児救急拠点病院、地域周産期母子医療センター、神奈川DMAT-L指定病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、エイズ治療拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院 (一般病院2、高度・専門機能:救急医療・災害時の医療)

病棟配置



土地 61,651.79㎡

建物 鉄筋RC (免震構造) 地上7階
12,440.78㎡ (延床面積 40,188.62㎡)

駐車場 555台

地域中核病院

Regional center hospital



当院は横浜市南西部地域中核病院として指定されています。地域中核病院は、地域に必要とされる政策的医療を提供し、地域医療機関相互の機能分担と連携の中心となる役割を担っています。

また横浜市南西部地域の高度・急性期医療を提供する使命を最大限に果たすため、完全紹介制による外来診療を行うとともに、地域医療連携を推進しています。



▲ 外来ホール



▲ 外来ブロック



▲ ナースステーション

災害医療

Disaster medical treatment



▲ 令和6年能登半島地震において当院から派遣したDMAT隊

当院は災害発生時に速やかに医療機能を復旧し、地域病院の支援や被災者の医療を行う災害拠点病院として指定されています。

病院の建物は免震構造で設計されており、非常用自家発電機や食料備蓄も備えています。免震構造の病院は全国で約8%^{※1}です。

また、救命救急センターを中心としたDMATやYMAT（大規模災害・事故時に現場で医療活動を行う組織）の体制を整備し、神奈川県や横浜市と共に、非常事態への備えを強化しています。

※1 厚生労働省 R5.10.10 プレスリリース「病院の耐震改修状況調査の結果」の「(3) 都道府県別の病院の耐震化の状況」より当院にて算出



▲ 免震構造



▲ 非常用自家発電機



▲ 非常用の食糧備蓄

救急医療

Emergency medicine



昭和 57 年 8 月から救急救命センターの運営を開始し、主として脳卒中・頭部外傷・心筋梗塞・急性腹症等の救命医療を行っています。なお、地域救急隊との定期的な会議の開催や救急救命士の研修受入を行うとともに神奈川県及び横浜市から救急情報センターにおける救急救命士の指導医派遣協力要請を受けて、専門医師の派遣を行っています。また、臓器提供施設としても指定されています。平成 29 年 4 月からは、ドクターカーの運用を開始しています。



▲ ドクターカー



▲ 初診室



▲ ICU

専門医療

Special medical treatment



各診療科は関連学会のガイドラインに沿って標準化された専門医療を行っています。外来では小児科アレルギー等専門外来、物忘れ外来、脳神経血管内治療外来、ペイン・緩和外来、スキンケア外来、糖尿病看護ケア外来、フットケア外来、連携パス外来など多数の専門外来を開設しています。

また、3.0T MRI、高性能2管球搭載 CT、最新式多機能手術顕微鏡、ニューロナビゲーションシステム血管撮影装置、リニアック（放射線治療）などの各種高度医療機器を駆使し診療しています。

令和 5 年 6 月に新たに西 2 階に開設した血液浄化センターでは、腎不全をはじめ、自己免疫疾患や閉塞性動脈硬化症等の血液浄化療法を必要とする患者さんに対して積極的に治療を行っています。



▲ MRI装置 【3.0T(テスラ)MRI】



▲ 血液浄化センター



母子(周産期)医療

Mother and child medical treatment

地域周産期母子医療センターとして安全な妊娠と分娩を目指し、合併症を持った妊婦さんも各診療科の協力を得ての産科診療を行っています。出生後は小児科医が新生児の診療にあたり、集中治療が必要な新生児は NICU で治療を行います。その後も経過観察を行い、より良い発達を遂げるように守っていきます。



▲ NICU



▲LDR

高度診断機能

Advanced diagnostic function

「24 時間体制」「常時複数装置稼働」の環境で、撮影、検査を行い、患者さんから得られる多くの情報を正確かつ迅速に分析し、臨床へ有効なデータを提供しております。



▲ 超音波検査



▲ 呼吸機能検査



▲ MRI装置【3.0T(テスラ)MRI】：
人体への被ばくの影響は無く、非常に精度の高い検査を行います



▲ CT装置【高性能2管球搭載CT】：
低被ばくで高速、高精度な検査が行え、4D診断も行えます

臨床研究

Clinical research



臨床研究部は、「臨床疫学・病態」「病理・免疫」、「生化学・遺伝子」、「画像・情報解析」の各研究室と「治験管理室」からなり、大規模臨床研究や、国立病院機構ネットワーク共同研究等への症例登録支援、医師・コメディカルの研究活動支援なども行っています。また、「治験管理室」は、質の高い治験を実施するための事務及び支援業務を行っています。新医薬品の開発は、大学病院等の特定機能病院の使命であり、我が国の医療水準効能のためにも、治験に積極的に取り組んでいます。



▲ 病棟説明会



▲ 同時説明補助



▲ 横浜医療センター研究会

教育・研修

Education and training

段階を踏んだ教育計画、職員全員参加のアイデアいっぱいの研修計画、シュミレーションラボラトリーを活用した技術教育など、臨床研修病院として医師・看護師などの研修を充実し、高い水準の知識・技術・モラルをもった医療従事者を育成するため、計画的な教育・研修を企画しています。





電車・バスでお越しの方

● 戸塚駅

戸塚駅西口の戸塚バスセンター
 戸50「ドリームハイツ行」
 戸52「俣野公園・横浜薬大前行」
 「横浜医療センター前」で下車
 戸55「横浜医療センター経由 俣野公園・横浜薬大前行」
 「横浜医療センター」で下車
 戸56「横浜医療センター」 終点

● 立場駅

船21・船22「大船西口行」
 「横浜医療センター前」で下車

● 大船駅

船21「立場ターミナル行」
 船22「俣野公園・横浜薬大前経由 立場ターミナル行」
 船24「俣野公園・横浜薬大前行」
 船25「ドリームハイツ行」
 「横浜医療センター前」で下車
 小型乗合バス「こすずめ号」(平日昼のみ)
 「横浜医療センター」で下車

● 藤沢駅

藤54「俣野公園・横浜薬大前行」
 「横浜医療センター前」で下車
 藤55「横浜医療センター行」
 「横浜医療センター」で下車



横浜市南西部地域中核病院
 独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センター

National Hospital Organization Yokohama Medical Center

〒245-8575 神奈川県横浜市戸塚区原宿 3-60-2

TEL 045-851-2621(代表) FAX 045-851-3902

URL <https://yokohama.hosp.go.jp/>



日本医療機能評価機構



日本医療機能評価機構

当院は日本医療機能評価機構
 (3rdG:Ver2.0)の認定病院です。